

伊豆半島北東部の地殻変動*

—1999年1月～1999年5月—

Crustal deformation in the northeastern Izu peninsula 1999 Jan.～1999 May.

国土地理院
Geographical Survey Institute

伊豆半島の地震活動はこのところ静穏である。地殻変動においても目立った変化は起きていない。

図1は、伊東・初島・真鶴・油壺験潮場間の月平均潮位差である。従来と同様の傾向が継続しており、特に目立った変化は見られない。

図2は、熱海（川奈）地区精密測量結果（1979-1999）であるが、1998年4月から5月の活動以後、特に大きな地殻変動は見られない。

図3は、小室山—宇佐美間の光波測距儀による連続観測結果である。気象の影響による見かけの変動を除き、群発活動が終了した1998年5月以降、特に大きな変化は見られない。

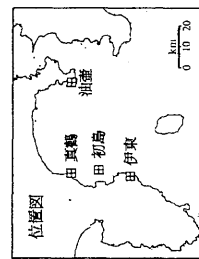
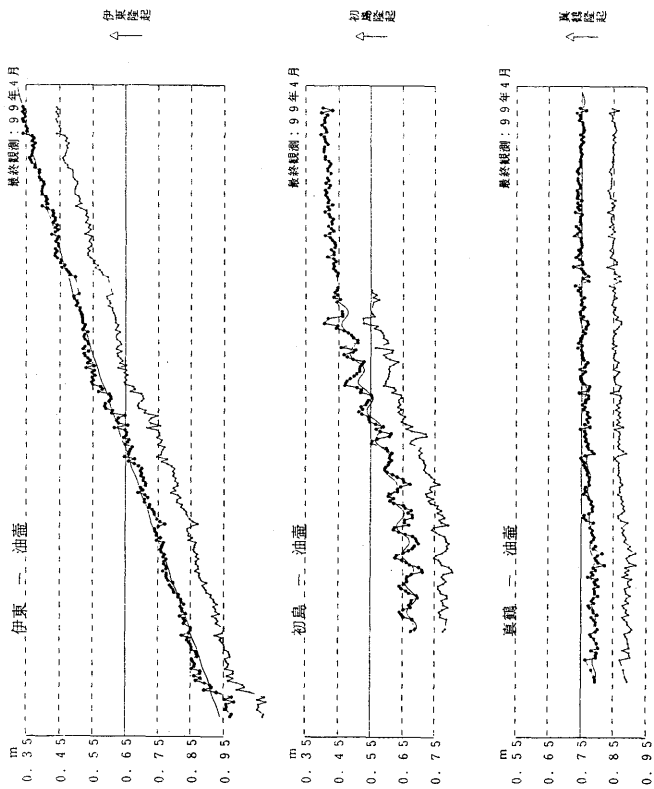
図4-1は伊豆半島におけるGEONETの観測局配置である。図4-2は1998年1月から1999年5月までの、伊豆半島北東部の観測点間の基線長変化の時系列である。1998年4月—5月の群発地震活動に伴う変動以外には、顕著な変動はない。なお、1998年10月頃及び1999年3月頃に、宇佐美及び伊東に関する基線において若干の値の飛びが見られるが、これは、アンテナ保護を目的とするレドーム設置に起因するもので、地殻変動を表すものではない。

*Received 7 Sep., 1999

海岸昇陸検知センター
 「潮位年報」による

伊東・油壺・初島・真鶴各験潮場間の月平均潮位差

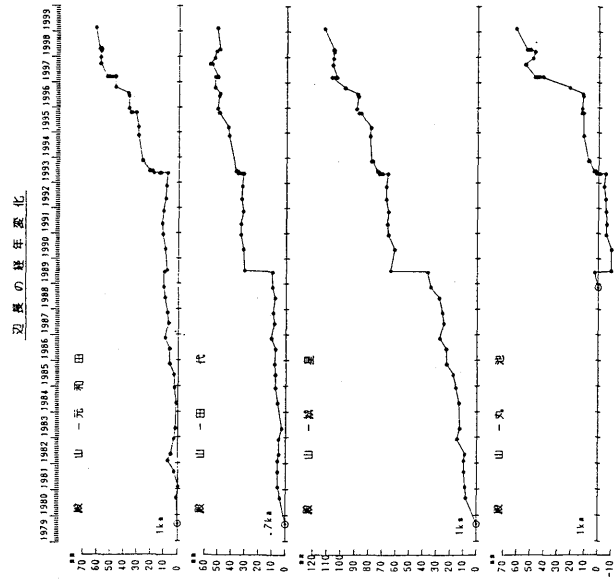
78.79 80.81 82.83 84.85 86.87 88.89 90.91 92.93 94.95 96.97 98.99



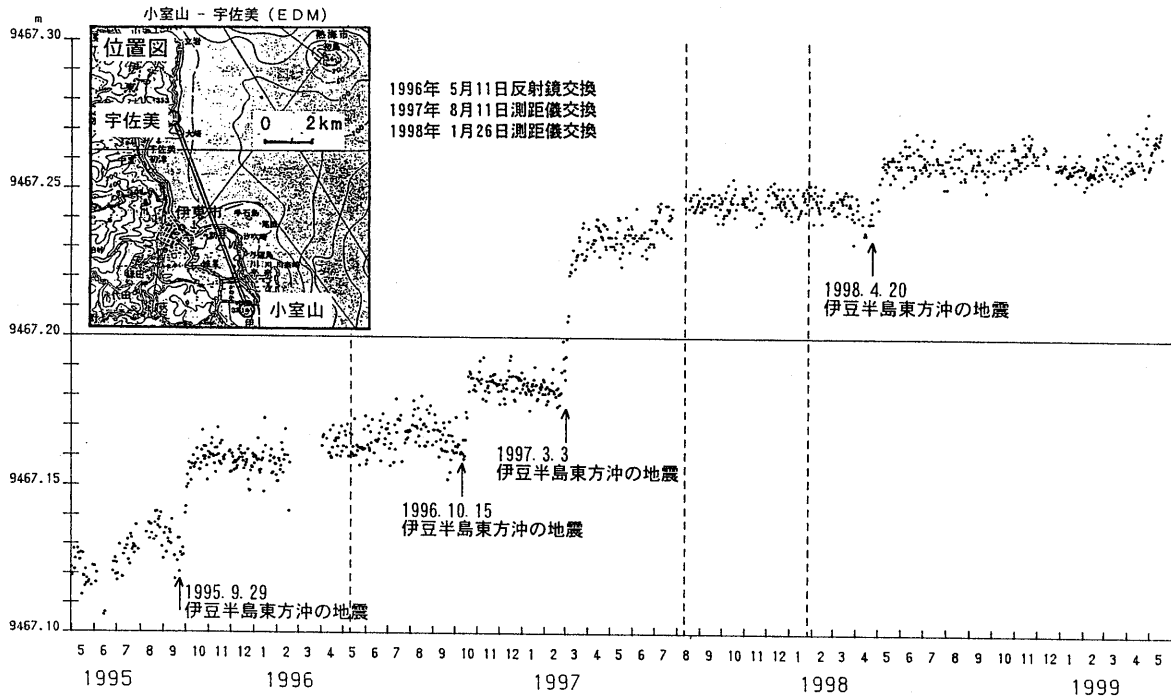
国土院資料

第1図 伊東・初島・真鶴・油壺験潮場間の月平均潮位差
 Fig. 1 Time series plots of monthly mean differences between sea levels recorded at Aburatsubo, Ito, Hatsushima and Manazuru tidal stations.

川奈地区精密辺長測量結果



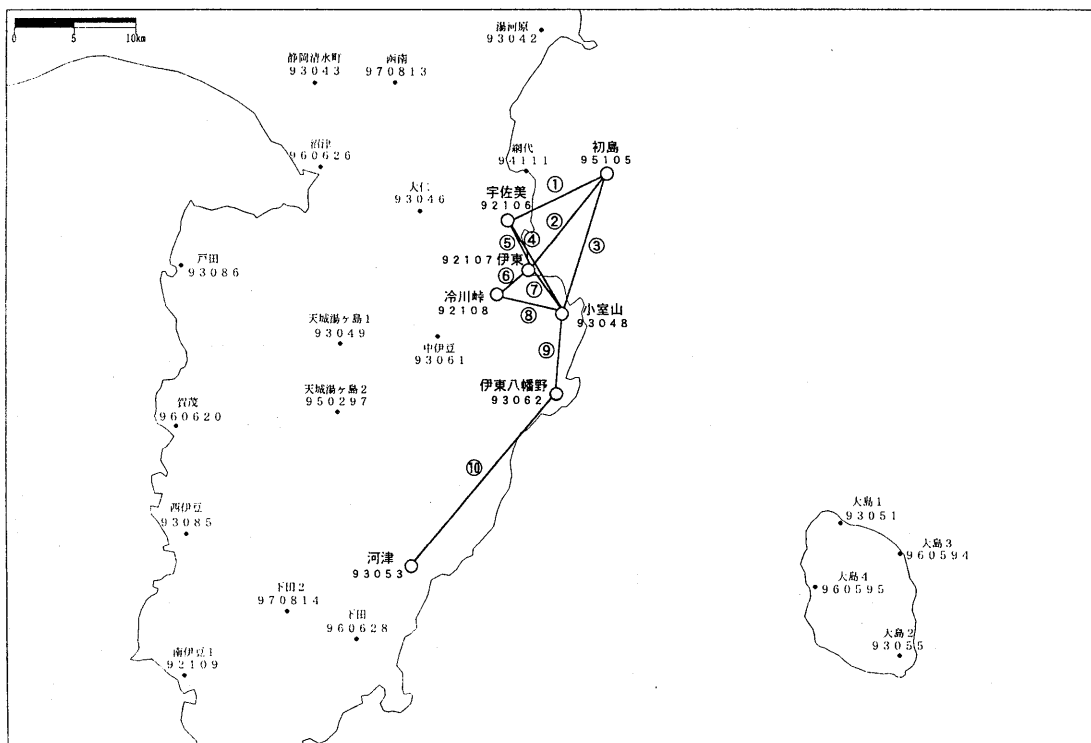
第2図 熱海(川奈)地区精密測量結果(1979-1999)
 Fig. 2 The results of precise EDM measurements in Atami(Kawana) area during 1979-1999.



第3図 光波測距儀による宇佐美-小室山間基線長変化時系列 1995年5月~1999年5月

Fig. 3 Time Series of distance between Usami and Komuroyama during the period from May 1995 to May 1999.

G P S 連続観測 伊東地区基線図



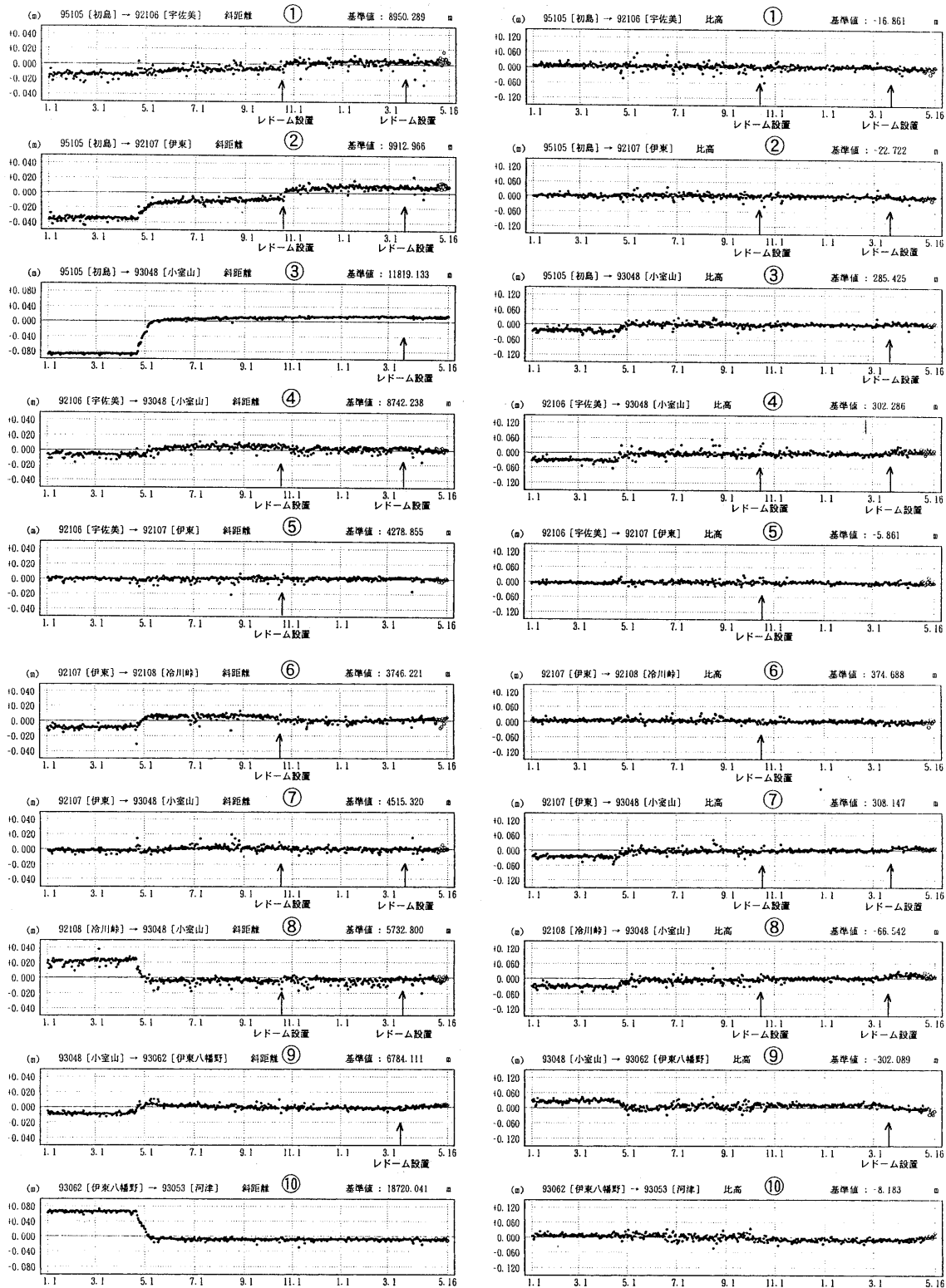
建設省国土地理院

第4-1図 伊豆半島東部のGPS連続観測拠点図

Fig. 4-1 Map showing the continuous GPS observation points in the eastern part of Izu peninsula.

期間：1998年1月1日～1999年5月16日
座標系：WGS84

基線長変化グラフ



● --- BerneseIGS暦 ○ --- Bernese[組合せ暦]

建設省国土地理院

第4-2図 伊豆半島東部の各GPS観測点間の基線長及び変化 1998年1月-1999年5月
Fig.4-2 GPS Time Series of distances and relative heights between sites in the eastern part of Izu peninsula. Jan. 1998 - May 1999.